

家の安全対策

備え

家にいた場合、机やテーブルの下に隠れる

または手近なクッション、座布団などで頭を守ります。揺れがおさまったら、すぐにドアや窓を開けて出口を確保します。

地震に備えて！室内対策

照明器具は1本コードだけで吊ってあるものは補強しましょう。

カーテンは防火処理を施したものにしましょう。

窓ガラスや室内の棚のガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。

ガラスによるケガなどを防ぐため、スリッパやスニーカーなどを準備しておきましょう。

停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておきましょう。電池に液漏れがないか点検しましょう。

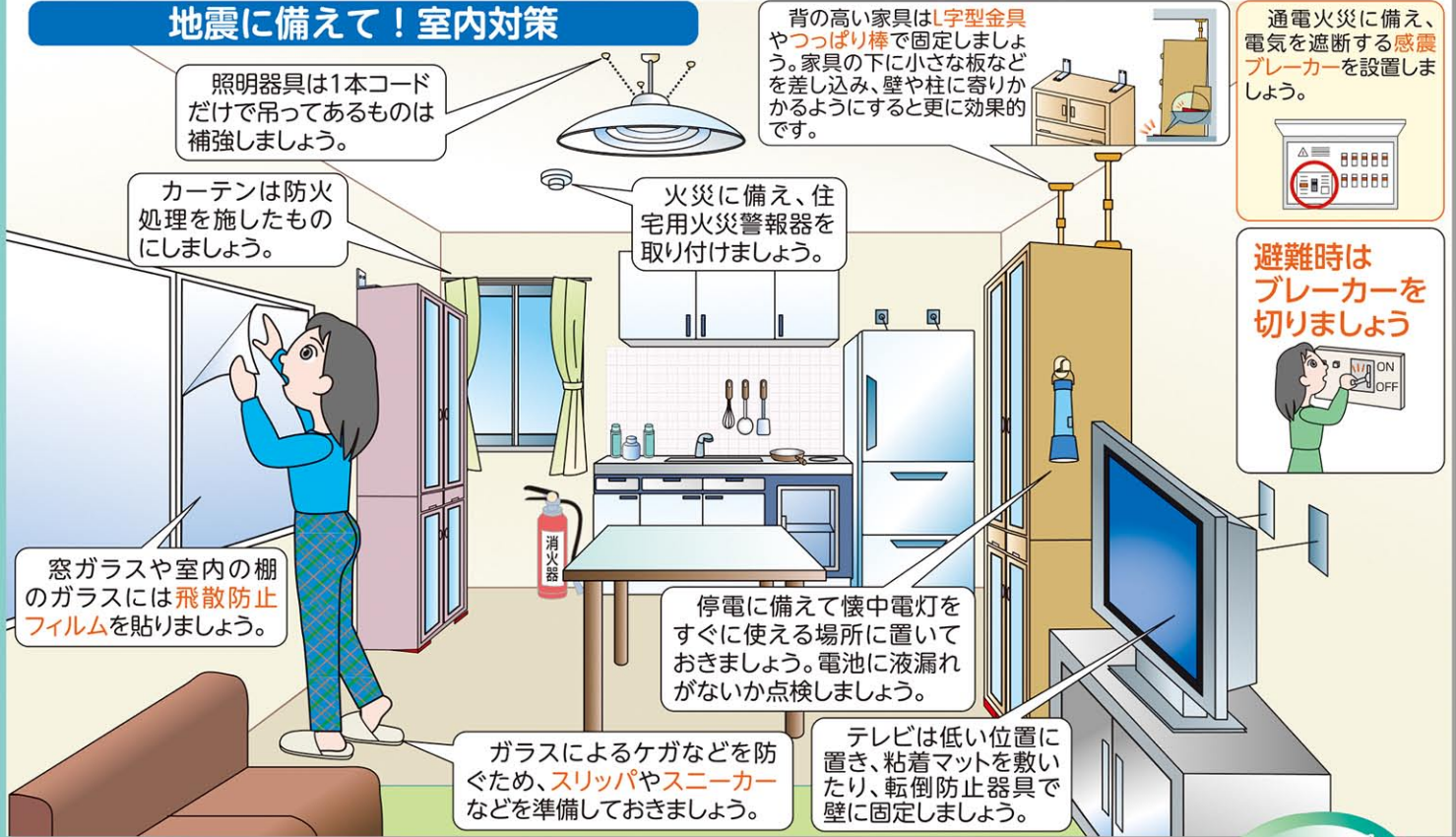
テレビは低い位置に置き、粘着マットを敷いたり、転倒防止器具で壁に固定しましょう。

背の高い家具はL字型金具やつっぱり棒で固定しましょう。家具の下に小さな板などを差し込み、壁や柱に寄りかかるようにすると更に効果的です。

火災に備え、住宅用火災警報器を取り付けましょう。

通電火災に備え、電気を遮断する感震ブレーカーを設置しましょう。

避難時はブレーカーを切りましょう



ペットの災害対策

備え

避難の原則はペットと飼い主の同行避難

災害時、あなたとあなたの大事なペットを守るために、いまできることを行いましょう

災害時にペットと飼い主が離れ離れになると、ペットが怪我をしたり衰弱して死亡したりするおそれがあります。また、ペットが放浪してしまうと住民への危害や繁殖などによる公衆衛生の悪化が懸念されることから、避難の際はペットと飼い主の同行避難が基本となります。

避難所でのペット受入れ

調布市の避難所ではペット同行避難の受入れを行いますが、動物アレルギーを持った人や動物が苦手な人への配慮も必要になるため、ペットは所定のスペースで、ケージ・キャリーなどの中で過ごすことになります。

受入れ条件

- ケージやキャリーバッグを持参する
- 決められたルールや場所での飼育に従う
- 犬、猫、小鳥、その他小動物（危害を及ぼさない動物等）

避難場所の検討

災害時には、必ず避難所に避難しなければならないわけではありません。安全な場所にある親戚・知人宅に避難する方法や、ペットホテルや動物病院などの一時預かりを利用する方法もあります。事前に避難できる場所を確認しておきましょう。

ペットの所有者明示

迷子札やマイクロチップを装着し、所有者明示をしましょう。災害時に万一はぐれた際に、飼い主の元に戻れる可能性を高めることができます。

災害に備えたしつけと健康管理

災害時、ペットを安心・安全に避難するため、日頃からしつけと健康管理を行いましょう。

- キャリーバッグやケージに慣らす
- 各種ワクチンによる予防接種を行っておく
- 寄生虫の予防と駆除
- 不妊去勢手術を行っておく



備蓄品の確保

避難先でペットの飼育に必要なものは飼い主が用意する必要があります。特に療法食等の特別食を必要とするペットは長期間（できれば7日分）以上の備蓄を用意しておきましょう。



調布市ペットの災害対策

バーコードリーダー付き携帯電話をお持ちの方は右のQRコードからアドレスの取得ができます。

